

パラダイスヒュッテ 札幌 小国 孝徳

吾が師にてスキーの神様と言はれたる教授に關する項を先づ読む(小竹先生、北海道医学教育史攷)年々の春休みをヒュッテにこもりたり朝々木を突つく鳥に目覚めてざわざわと木々の葉に触れつつ飛びたりきヒュッテの後の手製のシャンツェポータブルに独逸の歌曲を聴きたりき大戦前のヒュッテの夜々をいつの年の天長節なりけむザラメ雪の手稲を半裸になりて滑りき

木枯らし 帯広 中野 知弘

路ふたぐ何ん歩彼ん歩のデモ列に紛れ渡りし土曜遙けし私戦して組織屠りし夢の刻 現は深き夜の木枯らし淡くして雪の如くと欲りしのみに惨、窮まらず旅路のはてはリアリテの街に充ちるる青空は硝子に乱射し定年ゆけり氣にすることはないサと云ひて自ずから秋に立ちたり君四番目に

発展 札幌 山口 康徳

白き息吐きて競ひしSLはなほ元氣ある人ら見送るあちこちにバリアフリーの普(あまね)きて老障の人街を彩る浅き傷かくさむとして深み増しそを糊塗せむと傷なほ深く白きもの空ゆ地上ゆ人おそふ傲慢矯す天の試練ぞ反省を經りて人類発展すそを怠らば漸次深淵

# 北海道医報歌人会詠草



手遅れ 札幌 古屋 統

氣が付いた時には既に遅かった落ち零れ中学生わが思春期も氣が付いた時には既に遅かったスモーカーきみ肺癆に死す氣が付けば既に及ばず未熟わが誤診処置ミス死せる幾人氣が付いた時には囿止め効かざりし正義のいくさ大東亜戦争「氣が付けば既に遅し」で許されぬ痛恨の極みイラク復興への寄与

潮騒の丘 札幌 魚住あらた

はるばると弛みあらずかちきしを咲きつぎ白し潮騒の丘